

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	天竜福祉工場
住 所	浜松市浜名区於呂4201-9
電話番号	053-583-1131

事業所番号	2217260013
管理者名	井上 裕一
対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

【活動場所】
静岡県浜松市天竜区青谷1461番地
浜松市天竜清掃工場(天竜エコテラス) 破砕セクター

【実施日程】
令和6年4月1日より週5日の本稼働となった(令和7年度は年間246日稼働)

【実施した生産活動・施設外就労の概要】
浜松市天竜清掃工場(天竜エコテラス) 施設整備運営事業の破砕セクター・運転・維持管理におけるプラスチック製容器包装処理運搬の手選別業務(請負業務)

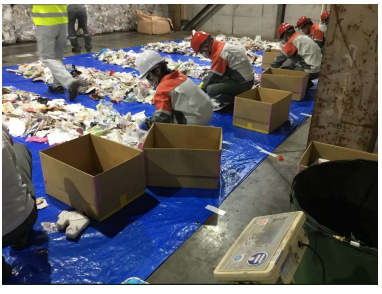
【利用者数】
12人/日

<活動の様子>

コンベアから流れてくるプラスチックごみの中から不適物(びん、かん、ペットボトル、金属、リチウムバッテリー、ガラス、木くず、汚れているもの、生ごみ、プラスチック製品、ごみの収集袋等)を取り除きます。



分別され再生工場に持っていく前段階で、パールの検査が定期的を実施されます。



<目的>

【地域連携活動のねらい】
清掃工場開設に伴い、浜松市として地元地域に根付いた会社への協力を求め、共生社会に向けて障がいがある方への働き先の開拓を念頭に平成29年から協議されてきた。今回当事業所が受託し、浜松市と運営会社(請負業者)と連携しながら、浜松市の活性化に繋げていくこととなった。

【地域にとってのメリット】
一般の方や小・中学生等の見学を多く受け入れており、ごみの分別に関する理解促進に努めることが出来る。

【対象者にとってのメリット】
収益増、事業内容の幅広い展開、従業員の賃金アップ・就労の場の確保等

<成果>

【実施した結果・得られた成果】
リサイクル製品の質の担保のため年に一度、日本容器包装リサイクル協会によるパール品質調査が行われるが、令和7年11月に実施された調査では昨年度に続き、最も良いA判定を受けることができた。

【課題点】
製品の質を高めるためには、作業の理解度を高める必要があり、研修や個別指導を行っているが、個々の能力や集中力等には差がある。そのため障害特性を踏まえた個別の支援が必要となる。

ランク判定基準	評価項目	破袋度評価		容器包装比率評価	禁忌品有無評価
		未破袋の袋の混入率(個/kg)	0.2個以上~0.4個未満/kg	90%以上	無
Aランク		0.2個/kg未満		90%以上	無
Bランク		0.2個以上~0.4個未満/kg		85%以上 90%未満	有
Dランク		0.4個以上/kg		85%未満	有
ランク判定結果		A		A	A

連携先の企業等の意見または評価

【連携した結果に対する意見または評価】
本事業の供用開始から2年が経過し、3年目の運営においても天竜福祉工場との強固な連携体制が維持された。本年度の評価をSQDCの観点から以下の通り総括する。

- S(安全)：2年目に掲げた「安全教育の強化」が実を結び、作業員一人ひとりの安全意識が定着。大きな労働災害もなく、継続的なゼロ災害達成を達成した。
- Q(品質)：容器包装プラスチックの選別品質は、前年度以上に高い水準で安定した。作業員の習熟度が向上し、異物混入防止の精度が上がったことは、外部検査における一貫した高評価に繋がっている。
- D(納期)：搬入量の変動に対しても、天竜福祉工場の柔軟な人員配置(層の厚い就労者層)により、滞留させることなく計画通りの処理を完遂した。
- C(コスト)：導入した作業日報のデータ活用により、消耗品管理や作業動線の最適化が進み、物価高騰等の外部要因がある中でも、効率的なコスト運営を実現した。

これらは、天竜福祉工場の現場職員と事務方が一体となり、当方の運営方針に深くコミットいただいた成果であり、地域福祉とインフラ事業を両立させる本モデルの有用性を改めて証明するものである。

【今後の連携強化に向けた課題】
3年間の運営を通じて、現場の「習熟」は一定の完成形に至った。今後は、20年という長期スパンを見据えた「持続可能な協力体制の深化」を最優先課題とする。

- 1.心身のケアを包含した安全管理：身体的な安全確保に加え、長期就労による「慣れ」から生じる注意力の低下や、メンタルヘルス面への配慮を含めた、より多角的な環境整備を天竜福祉工場と共に推進する。
- 2.変化への対応力強化：排出されるごみの質の変化(リチウムバッテリー等の普及)に即応するため、定期的な勉強会を開催し、知識のアップデートを仕組み化して欲しい。
- 3.デジタル活用の高度化：蓄積された作業データを分析し、繁忙期の予測や効率的な人員配置のシミュレーションに活用する。これにより、無理のない就業環境の維持と、事業の更なる安定化を両立させる。

今後も、単なる業務委託の関係を越えた「地域のパートナー」として、双方向のコミュニケーションを絶やすことなく、浜松市の資源循環社会を支えていく。

連携先企業名	新明和工業株式会社	担当者名	大野 晃明
--------	-----------	------	-------